

盛地申3号  
交渉①

## 安全で働きがいのある職場を創り出すための 緊急申し入れ

1. 9月30日に発生した、東北新幹線はやぶさ7号での事象とその原因を明らかにすること。

はやぶさ7号が仙台駅定時発車後、速度が低下した状態で運転を継続し、水沢江刺駅を約2分遅通、盛岡駅に2分遅着したのもである。

どこから速度が低下しどのような運転を行っていたのか？

一関駅通過は定時。くりこま高原駅から速度の低下が認められている。指令から「水沢江刺2分遅通だがどうしましたか？」と乗務員に連絡し、事象が判明した。時間があっていないが運転操縦に取扱いミスはなかった。

なぜ2分遅通の運転操縦を行ったのか？その原因は？

車両データからおよそ25分弱運転操縦していない時間がある。本人からは「記憶がない」「記憶が曖昧」「眠気があった」等言っている。「強い眠気があった」と言っているが実際「寝ていた」という証拠はえられていない。新幹線運転室は一人である為、その証拠を確認する事は出来ない。原因はわからない、特定できない。

本人を日勤(1ヶ月)に降ろしたのは、乗務復帰に向けた教育のための日勤ではないのか？

事象発生時に指令に対し「正しい報告が速やかになされなかった」事が1番の理由である。そこを重く受け止めている。

本人は「記憶がない」状態の中、とっさに報告しており、指令へ報告した間違いを直し、正しい内容を区に帰ってから当直に報告している。

間違った事を訂正する事は良い事だが、指令とのやり取りを一部分正しい報告に訂正していない。また、区での聞き取りも数回やったが、報告内容が二転三転している。訂正しても最初の証言が変わったという事実は事実であり「正しい報告がされていない」事には変わらない。そこを重く受け止めている。

本人はすべて訂正していると思込んでいる可能性もある。一部分訂正されない原因がどこにあるのか？事象を明らかにして議論して行くひつようがある！！

団体交渉の中で個人の事柄について明らかにして議論する場ではないと思っているので、会社としては考え方を示している。

これでは正しく報告する風土も原因究明して安全風土を創り出す事もできない！！